

関 西 学 院 大 学

2023年度春学期(2023年4月)入学

大学院特別学生(外国人留学生)入学試験要項

<2023年2月実施>

法学研究科(博士課程前期課程・博士課程後期課程)

次の項目は、『関西学院大学大学院入学試験要項 共通別冊子』をご確認ください。

1. 学費について
2. 奨学金等について
3. 教育職員免許状・学校図書館司書教諭・博物館学芸員資格について
4. 入学後の在留資格について【外国人留学生】
5. 大学院副専攻「国連・外交」コースについて
6. 教学補佐(Teaching Assistant)制度について
7. 研究奨励金など大学院学生・研究員への支援制度について
8. 個人情報保護への取組について
9. 研究科の入試説明会などについて
10. お問い合わせ先

関西学院大学 国際教育・協力センター

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号

電 話 (0798) 51-0952

F A X (0798) 51-0954

新型コロナウイルス感染症等の影響により、入学試験内容等に変更が生じた場合は、

本学ホームページ内の入試情報サイトに変更内容を掲載します。出願前には必ずご確認ください。

■関西学院大学入試情報サイト：<https://www.kwansei.ac.jp/graduate/admissions>

法 学 研 究 科

1. アドミッションポリシー

法学研究科では、ソーシャル・アプローチの理念に基づき、広く深い社会的視野と教養に根ざした法学・政治学の研究を極めることを通じ、法と政治の基礎にある自由と人権、正義を重んじ、社会に奉仕する精神に富み、高度の専門的能力を獲得することを目指す学生を受け入れます。

前期課程にはアカデミックコースとエキスパートコースが設置されています。アカデミックコースでは、2年間の前期課程において法学・政治学の基礎的研究を行い、引き続き3年間の後期課程に進学して、主として研究者となることを目指す学生を受け入れます。エキスパートコースでは、次の5プログラムのいずれかに所属して、高度専門職業人となることを目指す学生を受け入れます。

[前期課程プログラム]

法律実務プログラム	司法書士、税理士、弁理士、公認会計士、不動産鑑定士などの専門職や、裁判所事務官、家庭裁判所調査官などをを目指す者（および既にこれらの職務に就いている者）。
ビジネス法務プログラム	企業法務担当者や人事・労務担当者など企業社会での活躍を目指す者、企業経営に関わる司法書士・社会保険労務士などの専門職を目指す者（および既にこれらの職務に就いている者）。
公共政策プログラム	国家・地方公務員、議員、NPO・NGO職員などの公共的な職務に就くことを目指す者（および既にこれらの職務に就いている者）。
国際法政プログラム	国際公務員、国際的NPO・NGO職員、国際的ジャーナリスト、大学・地方公共団体などの国際交流要員などをを目指す者（および既にこれらの職務に就いている者）や、国際的視野をもった市民となることを目指す者。
自由研究プログラム	上述の4つのプログラムに横断的かつ総合的にアプローチする基礎研究を行うことを目指す者や、ジャーナリスト、各種シンクタンク研究員、高度な専門的学識を備えた中学校・高等学校教諭などをを目指す者（および既にこれらの職務に就いている者）。

後期課程には、3専攻が設置されています。各専攻は、それぞれ次のような学生を受け入れます。

[後期課程専攻]

政治学専攻	政治学の分野において自立して研究活動を行うことのできる高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を身につけることを目指す者。
基礎法学専攻	基礎法学・公法学の分野において自立して研究活動を行うことのできる高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を身につけることを目指す者。
民刑事法学専攻	民事法学・刑事法学の分野において自立して研究活動を行うことのできる高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を身につけることを目指す者。

2. 専攻・募集人員

＜博士課程前期課程＞ ※コース別の定員は定めていません。

専攻・コース名	募集人員
法学・政治学専攻 アカデミックコース	45名
法学・政治学専攻 エキスパートコース	

＜博士課程後期課程＞

専攻名	募集人員
政治学専攻	若干名
基礎法学専攻	若干名
民刑事法学専攻	若干名

3. 出願資格

博士課程前期課程

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 外国籍を有し、外国において学校教育における16年の課程を修了した者（学士の学位を有する者）または2023年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 日本の大学を外国人留学生として卒業した者または2023年3月までに卒業見込みの者。
- (3) 外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国籍を有する者が、個別の入学資格審査により、(1)～(3)と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、入学時22歳に達する者。

(注意事項)

1. 出願時に日本留学試験（EJU）日本語で240点以上取得または日本語能力試験（JLPT）N1に合格、またはそれらに準ずる日本語能力を有していること。
2. 入学後は原則として「出入国管理および難民認定法」による留学可能な在留資格を取得できることを条件とします。

<個別資格審査>

上記(4)の資格により受験を希望する場合や、国により教育制度が異なるため出願資格の有無について疑問がある場合は、個別資格審査のための書類提出が必要な場合があります。**2023年1月6日（金）までに必ず**本研究科に連絡し、指示された書類を提出してください。書類提出がなされずに出願した場合、入学試験を受験できないことがあります。

博士課程後期課程

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 外国籍を有し、修士の学位またはそれと同等以上の外国の学位を有する者、または2023年3月までに取得する見込みの者。
- (2) 日本の大学院もしくは国際連合大学において、外国人留学生として修士の学位を取得した者、または2023年3月までに取得する見込みの者。
- (3) 外国籍を有する者が、外国の大学において教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- (4) 外国籍を有する者が、個別の入学資格審査により、(1)、(2)と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、入学時24歳に達する者。

(注意事項)

1. 出願時に日本留学試験（EJU）日本語で240点以上取得または日本語能力試験（JLPT）N1に合格、またはそれらに準ずる日本語能力を有していること。
2. 入学後は原則として「出入国管理および難民認定法」による留学可能な在留資格を取得できることを条件とします。

<個別資格審査>

上記(3)または(4)の資格により受験を希望する場合や、国により教育制度が異なるため出願資格の有無について疑問がある場合は、個別資格審査のための書類提出が必要な場合があります。**2023年1月6日（金）までに必ず**本研究科に連絡し、指示された書類を提出してください。書類提出がなされずに出願した場合、入学試験を受験できないことがあります。

4. 出願期間・出願方法・出願場所

出願期間

2023年2月8日（水）～2月15日（水） ※左記期間外は一切受け付けません。

出願方法

法学研究科（法学部）へ郵送または持参してください。

①郵送の場合

簡易書留郵便にて出願期間内に必着するよう送付してください。

なお、封筒のおもてに「法学研究科入学願書在中」と朱書きしてください。

②持参の場合

受付時間… 平日（月～金）9:30～11:30 および 12:30～16:50

出願場所

関西学院大学大学院 法学研究科（法学部）事務室

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155号 電話(0798)54-6203

5. 出願手続

博士課程前期課程

①入学願書	所定用紙(A)～(E)票に本人が記入し、入学検定料を納入のうえ(C)～(E)票を提出してください。 (C) 票「志望コース」欄は、志望するコースを選択し○で囲んでください。 エキスパートコース志望者は、志望プログラムも○で囲んでください。 (C)票「入学後志望する指導教員名」欄は、別表＜前期課程担当教員・受験科目等一覧＞から入学後志望する指導教員（論文Ⅱ試験受験科目）を1名選んで教員氏名を記入してください。 (D)票に郵便番号・住所・氏名を明記してください。 (E)票に写真1枚（正面上半身・脱帽、縦4cm×横3cm、出願前3カ月以内に撮影したもの、裏面に氏名を記入）を貼付してください。 ※出願後の記入内容の変更は一切認めません。
②履歴書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。
③最終出身学校の卒業（見込）証明書	最終出身学校作成のもの。ただし、成績証明書に卒業（見込）年月日の記載があれば不要です。
④最終出身学校の成績証明書	最終出身学校作成のもの。 <u>必ず最終出身学校にて厳封したものを提出してください。</u>
⑤推薦状1通	最終出身学校長などの推薦状。不可能であれば出願者の専門分野の能力について判定しうる推薦者の推薦状を提出してください。指定用紙はありません。
⑥日本語能力に関する証明書	日本留学試験（EJU）日本語の成績通知書または成績確認書（240点以上取得）もしくは日本語能力試験（JLPT）N1の可否結果通知書(原本)を提出してください。不合格・未受験の出願者は、法学研究科所定用紙に日本語学校等で、出願者の日本語能力が日本留学試験（EJU）日本語240点以上取得もしくは日本語能力試験N1に準ずる旨の証明を受けてください。
⑦日本語能力説明書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。
⑧研究計画書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。
⑨パスポートのコピー	顔写真・氏名・パスポート番号の記載があるページを提出してください。
⑩在留カードの 表面・裏面のコピー	日本に在留している場合のみ提出してください。
⑪入学検定料	35,000円

博士課程後期課程

①入学願書	所定用紙(A)～(E)票に本人が記入し、入学検定料を納入の上、(C)～(E)票を提出してください。 (C)票「入学後志望する指導教員名」欄は、専攻しようとする専門科目（論文試験受験科目）の担当者を別表＜後期課程担当教員・受験科目等一覧＞から1名選び記入してください。 (C)票の「外国語受験科目」欄は、選択する言語（英語、フランス語、ドイツ語）を○で囲んでください。ただし、母語を選択することはできません。 (D)票に郵便番号・住所・氏名を明記してください。 (E)票に写真1枚（正面上半身・脱帽、縦4 cm×横3 cm、出願前3カ月以内に撮影したもの、裏面に氏名を記入）を貼付してください。 ※出願後の記入内容の変更は一切認めません。
②履歴書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。
③出身大学院の修了（見込）証明書※	出身大学院作成のもの。ただし、成績証明書に修了（見込）年月日の記載があれば不要です。
④出身大学院の成績証明書	出身大学院作成のもの。 <u>必ず最終出身大学院にて厳封したものを提出してください。</u>
⑤推薦状1通	指導教授の推薦状。不可能であれば、出願者の専門分野の能力について判定しうる推薦者の推薦状を提出してください。指定用紙はありません。
⑥日本語能力に関する証明書	日本留学試験（EJU）日本語の成績通知書または成績確認書（240点以上取得）もしくは日本語能力試験（JLPT）N1の可否結果通知書（原本）を提出してください。不合格・未受験の出願者は、法学研究科所定用紙に日本語学校等で、出願者の日本語能力が日本留学試験（EJU）日本語240点以上取得もしくは日本語能力試験N1に準ずる旨の証明を受けてください。
⑦日本語能力説明書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。
⑧研究計画書	法学研究科所定用紙に本人が記入してください。
⑨修士論文※	修士論文1部および日本語または英語による概要書（日本語で約2,000字相当）3部を提出してください。ただし、本研究科博士課程前期課程から引き続き進学する場合は概要書のみとします。
⑩パスポートのコピー	顔写真・氏名・パスポート番号の記載があるページを提出してください。
⑪在留カードの表面・裏面のコピー	日本に在留している場合のみ提出してください。
⑫入学検定料	35,000円

※受験資格(3)または(4)で受験を希望する場合は、③、⑩に代わり出願資格を証明する書類を添付すること。

6. 出願・受験上の注意事項

1. 身体に障がいがあり、受験および入学後の就学に際して特別の配慮を必要とする志願者は、出願開始日の1カ月前までに法学研究科（学部）事務室へ申し出てください。
2. 出願手続書類③④⑥の書類は、日本語・英語・中国語以外は翻訳を添付してください。
3. 出願書類を本学に持参する場合は、入学検定料を納入する前に法学研究科（学部）事務室で出願書類の点検を受けてください。不明点がある場合も必ず法学研究科（学部）事務室へお問い合わせください。
4. 受験票は必ず携行してください。紛失や忘れた場合は法学研究科（学部）事務室に申し出てください。
5. 試験開始15分前までに試験場に入室・着席しておいてください。
6. 試験開始後30分以上遅刻した場合は受験することができません。
7. 不正行為者は全科目を無効とします。
8. 携帯電話を時計として使用することはできません。
9. 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は受験および入学の資格を取り消します。

7. 納入方法

日本国内から納入する場合

■金融機関から納入

- ①入学願書〔(A)～(E)票〕に必要な事項を記入のうえ、切り離さずに金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口で納入してください。
- ②納入後(B)(C)票に金融機関の出納印があることを確認してください。(B)票は領収書です。本人が大切に保管してください。
- ③(A)票に記載の金融機関の本・支店から振り込む場合は、手数料は不要です。取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なりますので、締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。ATM及びインターネットバンキングによる振込みは受け付けません。

日本国外から納入する場合 ※可能な限り、日本国内からの納入をお願いします。

■クレジットカードを利用して納入する場合

次のURLにアクセスし、クレジットカードでの支払い手続きを完了してください。（納入期間内（**最終日は15:00まで**※全て日本時間）のみ支払い可能です。）手続き完了後、「支払完了書」をプリントアウトし、入学願書(A)票の上に貼付し、(A)～(E)票は切り離さずにそのまま他の出願書類と提出してください。

※システム利用料（918円／1出願につき）がかかります。

※クレジットカードでの支払い手続き完了後、入学検定料の返金、出願内容の変更、取り消しは一切できません。志望研究科・受験する入学試験の選択等、間違いのないように慎重に手続きを行ってください。

■入学試験名称：【075：特別学生（外国人留学生）入学試験】
【075：Entrance Examination for International Students】

クレジットカード決済手続きURL：

日本語：https://pay.f-regi.com/fc/kgu_exam/ja/
English：https://pay.f-regi.com/fc/kgu_exam/en/

■金融機関から納入する場合

37,500円（入学検定料35,000円および手数料2,500円）を次の方法により送金し、取扱金融機関の出納印のある振込金証明書、外国送金依頼書等のコピーをFAXにて関西学院大学国際教育・協力センター（+81-798-51-0954）に送信してください。FAXには必ず志望研究科・志願者氏名を記入してください。また、コピーを出願書類に同封し、提出してください。日本国外から送金する場合は、できる限り早く手続きを完了してください。

【送金額 (Amount)】 **37,500円**

【送金方法】

送金種別：電信送金 (Telegraphic Transfer)

支払方法：通知払 (Advise and Pay)

支払銀行手数料 (Paying Bank's Charges, if any)：受取人負担 (Payee's Account)

通貨：日本円 (JPY) ※必ず受取人負担を指定してください。

【送金先口座】

銀行名：三井住友銀行甲東支店 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation Koto Branch)

銀行住所：〒662-0812 兵庫県西宮市甲東園3丁目2-29

(3-2-29, Kotoen, Nishinomiya, Hyogo 662-0812 Japan)

SWIFT CODE: SMBC JPJT

預金種類：普通預金 (Ordinary Account [Savings Account])

口座番号：1000257

受取人名：学校法人関西学院 (KWANSEI GAKUIN)

※送金者の名義は、必ず志願者本人としてください。他人名義での送金はしないでください。他人名義で送金をする、入金の確認が出来ず、手続完了となりません。

※自国の金融機関で発生する送金時の手数料は志願者が負担してください。また、日本の銀行でも手数料2,500円が徴収されますので、37,500円を送金してください。日本の銀行での手数料が2,500円を超えない場合でも差額は返金しません。

8. 試験日程・試験科目・試験会場

博士課程前期課程

試験日程		試験科目	試験会場
2023年2月24日（金）	10:00～12:00	論文Ⅰ・論文Ⅱ	当日法学研究科（法学部）内に掲示します。
	13:00～	口述試験（日本語で行う）	

○論文

- ①論文Ⅰは、法学または政治学一般に関する共通問題です。
- ②論文Ⅱは、志望する指導教員の専門科目に関する問題です。
- ③志願票(C)「入学後志望する指導教員名」欄は、専攻しようとする専門科目（論文試験受験科目）の担当者を別表＜前期課程担当教員・受験科目等一覧＞から1名選び記入してください。
- ④本学において準備した六法の参照を許可します。（持ち込みは一切認められません。）

○口述試験

- ①日本語で行います。
- ②専攻科目についての基礎学力や専門的内容および研究計画等について実施します。
- ③本学において準備した六法の参照を許可します。（持ち込みは一切認められません。）

博士課程後期課程

試験日程		試験科目	試験会場
2023年2月24日（金）	10:00～11:30	論文	当日法学研究科（法学部）内に掲示します。
	13:00～14:30	外国語試験	
	15:00～	口述試験（日本語で行う）	

○論文

- ①専攻しようとする専門科目に関する問題です。
- ②志願票(C)「入学後志望する指導教員名」欄は、専攻しようとする専門科目（論文試験受験科目）の担当者を別表＜後期課程担当教員・受験科目等一覧＞から1名選び記入してください。
- ③本学において準備した六法の参照を許可します。（持ち込みは一切認められません。）

○外国語

- ①専攻しようとする専門科目に関する問題です。（英語・ドイツ語・フランス語のうち1言語選択のうえ、日本語訳。ただし、母語を選択することはできません。）
- ②選択した外国語により「英和辞典」、「仏和辞典」、「独和辞典」のいずれかの使用を認めます。専門用語辞書および電子辞書は使用できません。

○口述試験

- ①日本語で行います。
- ②研究計画書、修士論文または概要書に基づき、研究能力等について実施します。
- ③本学において準備した六法の参照を許可します。（持ち込みは一切認められません。）

9. 合格者発表

2023年3月3日（金） 9:00

法学研究科（法学部）に掲示し、受験者本人住所・氏名宛に可否通知を速達で郵送します。
なお、可否に関するお問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続

合格者は下記の所定期間内に入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

入学手続Ⅰ（入学申込金の納入）	2023年3月3日（金）～3月10日（金）
入学手続Ⅱ（学費・その他の諸費の納入および書類の提出）	2023年3月10日（金）

(1) 入学手続Ⅰ＜入学申込金の納入＞

① **3月10日（金）まで**に、所定用紙を用いて銀行等の金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口で納入してください。

取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なりますので、締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。ATM及びインターネットバンキングによる振込みは受け付けません。

(2) 入学手続Ⅱ＜学費・その他の諸費の納入および書類の提出＞

以下の①および②を完了してください。

① 学費・その他の諸費の納入

3月10日（金）までに、所定用紙を用いて銀行等の金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口で納入してください。詳細は上記入学申込金に準じます。

② 書類の提出

次の書類を入学手続Ⅱの期間内に法学研究科（学部）事務室へ郵送するか直接持参してください。

郵送の場合は手続期間内に必着するように送付してください。

- (イ) 「学費支弁者届出書」（本学所定用紙）
- (ロ) 「住民票記載事項証明書」またはこれに代わるもの ※日本国内居住者のみ
(市区町村発行 本学に入学する者の氏名、住所、生年月日、性別、国籍（地域）、在留資格、在留期間、在留期間等の満了日の証明のあるもの)
- (ハ) 「学生証顔写真貼付台紙（院生用）」および「学生証顔写真貼付台紙（大学控）」

(3) 入学式

2023年4月1日（土）予定

次の書類を入学式当日に提出してください。（オリエンテーション内で回収します。）

- (イ) 宣誓書（本学所定用紙）
- (ロ) システム利用誓約書（本学所定用紙）
- (ハ) 卒業（修了）見込で出願した者は、「卒業（修了）証明書」および**最終学年の成績も記載された「成績証明書」**

(注意事項)

1. 入学手続期間（ⅠおよびⅡ）内に所定の入学手続を完了しない場合は、入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。
2. いったん納入された入学申込金または入学金はいかなる理由があっても返還しません。
3. 入学手続Ⅰの期間内に納入された入学申込金（入学金と同額）は、学費・その他の諸費の納入と同時に入学金として取り扱います。
4. いったん納入された入学金以外の学費・その他の諸費は所定の手続きをすれば返還請求できます。なお、詳細は「入学手続きのご案内」を参照してください。
5. 提出書類は返還しません。
6. 上記以外にも提出する書類がありますので注意してください。
7. 関西学院窓口取扱時間は次のとおりです。
取扱時間…平日9:30～11:30および12:30～16:50、土曜日、日曜日は閉室

11. 過去の入試問題

詳細は法学研究科（法学部）HP(https://www.kwansei.ac.jp/s_law/)をご覧ください。